

令和4年2月13日

# 南の風 For Junior79

南部地区ミニバスケットボール連盟  
会長 藤原 敬一

前号の続きです。

## 《仮定Ⅲ》

78号で紹介した仮定Ⅱの選択バージョンです。

リバウンダーが、右側のつなぎの選手にパスしたとします。逆サイドのミドルマンにパスが出なかった場合、ドリブルでミドルレーンに進んだとき、左サイドを走ったランナーがミドルに上がって合わせます。攻めるゴールを背にした状態でボールを受けます。ミドルレーンでボールを受けることで、次のパスの選択肢が広がります。(左右、前後)

ここからの展開の2つ紹介します。

一つは、右側を走っていたランナーがミドルのハイポスト付近で合わせる、ミドルの縦、縦の合わせです。左側のつなぎの選手は左サイドラインを走り、ハイポストの選手からのパスに合わせるようにします。リバウンダーの選手は、右側のつなぎの選手にパスした後、右側のサイドラインを走り、トレイルしてハイポストの選手からのパスに合わせます。ドリブルでミドルレーンを進んだ選手がセーフティ어의位置を占めます。

もう一つは、右側のランナーがハイポストには上らず、コーナーまで進みステイします。ミドルレーンでボールを受けた左側のランナーは、左側のつなぎの選手のバックドアに合わせるか、右側のランナーが進んだコーナーに合わせるかします。コーナーにパスされれば、リバウンダーがトレイルしてペイントにカットします。この場合もドリブルでミドルへ進んだ選手がセーフティーとなります。

このように、フィギアエイトでの速攻、運びからボールをつなぐことでスムーズにオフェンスが展開できます。簡単な動きの原則をチームで作っておくと混乱しないと思います。

また、フィニッシュの場面でシュートを決め切るためには、アウトナンバーの攻めが必須となります。2対1や、3対2の攻め方は必ず練習しておくことが大切です。

繰り返しますが、チームにしっかりとしたPGがいるのであれば、リバウンドやトランジション時にその選手にボール渡すこともありだと思います。しかしU15では、一人ひとりのプレーヤーがトランジションを意識し、瞬時に自分の役割を判断し、プレーできることが一人ひとりの成長につながると考えます。各チームで取り組むことをお奨めします。

次にドリブルドライブモーションオフェンスを、U15の選手用に簡素化したものを紹介します。

アライメントは、4アウト1インとします。攻めるリングに向かって、ミドルラインを挟んで右側に3人、左側に2人です。原則として3人の塊と2人の塊で攻めます。お互いがサイドチェンジすることはありません。

動き方をできるだけ簡略化して、ミニバスや中学校の部活にも取り入れられるようにしました。スクリーンとペイントドライブ、カットがメインになります。詳細は次号にします。